

2022年4月12日

兵庫県加古川市でセブン銀行 ATM とマイナンバーカードを活用した
給付金等の ATM 受取システムの構築と実証を実施
セブン銀行、セブン・ペイメントサービス、xID、両備システムズの4社と連携

兵庫県加古川市
株式会社セブン銀行
株式会社セブン・ペイメントサービス
xID 株式会社
株式会社両備システムズ

兵庫県加古川市（市長 岡田康裕）と、株式会社セブン銀行（住所：東京都千代田区、代表取締役社長 舟竹泰昭）、株式会社セブン・ペイメントサービス（住所：東京都千代田区、代表取締役社長 和田哲士）、xID 株式会社（住所：東京都千代田区、CEO 日下光）、株式会社両備システムズ（住所：岡山県岡山市、代表取締役社長 松田敏之）は、セブン銀行 ATM で住民が給付金等の受け取りを安全かつ速やかに行えるシステムの構築と、関連する周辺環境の整備、本仕組みの本格導入に向けた実証を2022年7月頃行います。

本取組みの背景

2020年に実施された特別定額給付金給付では自治体において膨大な事務手続きが発生し、給付金の入金までに相当の時間を要した自治体が多くありました。要因としては、給付金の対象者の銀行口座について、全員分かつ最新の情報を把握する必要があったことや、提出書類の確認や給付金の口座振り込み手続きに一定の時間を要した、といった事情が挙げられます。コロナ禍において1日も早く給付金を受け取りたいという住民のニーズと自治体の給付事務の現状との間にあるギャップが浮き彫りになりました。

本実証では、セブン銀行 ATM とマイナンバーカードと連携したデジタル ID「xID」、両備システムズ「給付金等 ATM 受取システム」を活用してスムーズな受取環境を構築し、従来の給付金関係の事務処理プロセスが抱える課題の解決を目指します。

本取組みの内容

本取組みでは、マイナンバーカードで本人確認を行った給付対象者が xID アプリを利用し、銀行口座を保有していなくとも、全国に2万6千台以上あるセブン銀行 ATM で現金を受け取ることができるシステムの構築と給付金支給の事務処理プロセスの改善を目指します。

特別定額給付金で国民の多くが感じた給付金受け取りに関する課題をマイナンバーカードとセブン

銀行 ATM、そして新たに構築する給付金等 ATM 受取システムを活用して解決します。

これまでは、住民が本人情報と口座情報および、その証拠書類を郵送で提出し、自治体職員がそれを確認したあとに金融機関に振り込みを依頼し、住民は銀行口座で給付金等を受け取っていました。今回はマイナンバーカードを活用し、オンラインで本人確認を済ませた対象者がセブン銀行 ATM から給付金等を現金で受け取る流れとなります。給付金等の受け取りにあたっては、セブン・ペイメントサービスが提供する「ATM 受取」を活用することで、銀行口座情報を申請・登録する必要はなく、銀行口座をお持ちでない方でも受け取りが可能となります。また、自治体職員は、総合行政ネットワーク（LGWAN）から本システムを直接利用することが可能です。

セブン銀行 ATM での受取までの流れ（イメージ）



本取組みにおける役割分担

加古川市	実証フィールドの提供、給付金等支給の試行
セブン銀行、セブン・ペイメントサービス	セブン銀行 ATM、「ATM 受取」を活用した給付金受取チャンネルの提供
xID	マイナンバーカードと連携したデジタル ID「xID アプリ」による本人確認
両備システムズ	給付金等 ATM 受取システムの構築、クラウド連携サービス「R-Cloud サービス」(R-CloudProxy for kintone、R-Cloud Auth for xID (仮称)、R-Cloud Payment for セブン・ペイメント (仮称)) の提供

実証の予定

実証は 2022 年 7 月頃を予定しています。今回は犯罪収益移転防止法で規定される 10 万円を超えない範囲で実施し、本人確認にはマイナンバーカードと連携した「xID アプリ」を利用します。実証参加者は今後検討します。

対象者は給付金等 ATM 受取システムを介して、オンライン上で本人確認を実施したのち、ATM での給付金受取に必要な番号等を取得します。給付金等の支給にあたっては、セブン・ペイメントサービスの「ATM 受取」を活用し、今回開発するシステムと API による情報連携を実施します。

給付金等 ATM 受取システムは業務改善プラットフォーム「kintone」等クラウドサービスにより構築します。外部クラウドとの連携対応を容易にするため、xID との連携には「R-Cloud Auth for xID（仮称）」、セブン・ペイメントサービスとの連携には「R-Cloud Payment for セブン・ペイメント（仮称）」を利用します。LGWAN から即時給付システムを直接利用するため、クラウドアクセスサービス「R-Cloud Proxy for kintone」を利用します。

今後の予定

住民が自治体から受け取るものには、給付金だけでなく還付金などがあります。自治体業務に携わっている知見を活かし、幅広い業務への活用を実現します。また、住民が必要に応じて受け取り方法を選択できるよう、公的個人認証機能の実装を行い、今後は 10 万円を超える給付・還付でも利用できることを目指します。

株式会社セブン銀行について

株式会社セブン銀行は、「セブン・イレブンに ATM があったら便利なのに・・・」というお客さまの想いに応えるため、2001 年に創業しました。以来、「いつでも、どこでも、だれでも、安心して」ご利用いただける ATM サービスの提供を通じ、安全かつ効率的な決済インフラの構築に努めています。2021 年 12 月には国内 ATM 設置台数 26,000 台を達成し、一日約 230 万人のお客さまにご利用いただく社会インフラの一つへ成長しています。

株式会社セブン・ペイメントサービスについて

株式会社セブン・ペイメントサービスは、セブン銀行 ATM を通じた送金サービスを提供する資金移動業者として 2018 年に誕生しました。企業から個人への送金を、銀行口座不要でセブン銀行 ATM とセブン・イレブンのレジで受け取れるサービス「ATM 受取」を提供しています。また、セブン銀行の提供する「売上金入金サービス」や「リアルタイム振込サービス」等のサービスをご利用されている法人のお客さまの窓口としての機能も担っています。

xID 株式会社について

xID 株式会社は「信用コストの低いデジタル社会を実現する」をミッションとして掲げ、マイナンバーカードを活用したデジタル ID ソリューション「xID」を中心に、次世代のビジネスモデルをパートナーと共に創出する GovTech 企業です。

xID 社コーポレートサイト：<https://xid.inc/>

■ xID アプリについて

『xID アプリ』は、マイナンバーカードと連携することで、より手軽に本人確認、本人認証、電子署名ができるデジタル ID アプリです。初回登録時にマイナンバーカードの署名用電子証明書をスマートフォンの NFC で読み取り、本人確認を実施することで ID を生成。以降、xID アプリを使って電子認証・電子署名を行うことで、金融サービス利用開始時の本人確認や行政手続きをオンラインで完結させることができます。

サービスサイト：<https://x-id.me/>

xID アプリの作成手順紹介動画：<https://youtu.be/mYx8FQ6WLgY>

株式会社両備システムズについて

官公庁、医療機関など公共系ソリューションおよび文教、運輸・交通、製造・流通業向けの民需系ソリューションを展開している独立系 ICT 企業です。

クラウドサービスに加え、独自のセキュリティサービスおよび、スピードと安全性の両立を実現する BPO サービスを展開しているのも特長です。

自社のデータセンターから展開している各クラウドサービスは、到来する DX(デジタルトランスフォーメーション)による情報社会を見据え、様々な他社プラットフォームと連携を進めています。

両備システムズコーポレートサイト：<https://www.ryobi.co.jp/>

以上